



## 「夏休み！金銭教育にちぎん大分見学会」を開催しました

8月21日(火)・24日(金)、日本銀行大分支店において、「夏休み！金銭教育にちぎん大分見学会」を開催し、2日間で小学校4年生から6年生の児童と保護者等42名の方の参加がありました。

見学会では、鎌田沢一郎日本銀行大分支店長(大分県金融広報委員会副会長)が、「なぜ日本銀行がお札を発行しているの?」、「日本のお札はなぜきれいな?」など、『お金の話』とともに、日本銀行の役割について説明しました。

このほか、店内の見学、お金に関するクイズやパズル、1億円の模擬紙幣に触れる体験等を行いました。



## 「夏休み親子消費者スクール」を開催しました

夏休み期間中、子どもたちにお金の大切さや、消費生活について学んでもらおうと、大分県と大分県金融広報委員会との共催で「夏休み親子消費者スクール」を大分市、日田市、宇佐市で開催しました。

115組の親子計281人が参加し、日頃は聞けない「お金の話」や「自分だけのラムネ作り」に取り組みました。



「お金の話」では、1億円の模型を実際に持ってみたり、子どもたちが自分の「ホシガリ怪獣」をチェックすることで、お金の有効な使い方について考えてもらいました。

「ラムネ作り」では、着色料、香料等を調整し自分だけのオリジナルラムネ作りに挑戦しました。また、自分が作ったラムネの広告ポスターを、表示に気をつけながら作成することを提案しました。参加者からは「おいしい!」という声があちこちで聞かれ、夏休みの楽しい思い出となりました。

## 大分中学校・高等学校において「金融教育公開授業」を開催します(12/1日<土>)

金融広報中央委員会および大分県金融広報委員会では、大分県教育委員会、大分市教育委員会、(財)大分県私学協会の後援を受け、平成19年度全国リレー「金融教育公開授業 in 大分」を以下の日程により開催します。テレビ等で活躍されている住田裕子弁護士を講師に、「気を付けよう！金融トラブル—中・高校生にこれだけは知っておいてほしいこと」と題し、大分中学校・高等学校の生徒に授業を行います。本授業は公開ですので、県内教育関係者や一般の方も聴講できます。

聴講を希望される方は、10月中旬に各小・中・高等学校にお送りするチラシ、または10月中旬以降、大分県金融広報委員会のホームページ(<http://www.money-oita.com>)に掲載する応募用紙によりお申込み下さい。

 開催日	12/1日(土) 13:30~15:25
 場所	大分中学校・高等学校(大分市明野高尾1丁目6番1号)

## 「第30回みんなの消費生活展」(大分市等主催)に協賛・出展します

大分県金融広報委員会は、10月11日(木)・12日(金)に、大分市ガレリア竹町ドーム広場で開催される「第30回みんなの消費生活展」(大分市、大分市消費者団体連絡協議会主催、大分県金融広報委員会協賛)に出展します。

今年も皆様の生活に役立つ情報満載の各種刊行物の無料配布等を行います。また、お金や金融に関するクイズを実施し、クイズに参加された方には特製「銀行券裁断片入りボールペン」を贈呈(先着500名様)します。

皆様のご来場をお待ちしています。

～開催日時～	
 10月11日(木)	10:00~16:00
 " 12日(金)	10:00~15:00



## ご存知ですか?「株券電子化」~いわゆる「タンス株券」は手続きが必要です

株券電子化(株式のペーパーレス化)とは、「社債、株式等の振替に関する法律」により、上場会社の株式等に係る株券をすべて廃止し、株券の存在を前提として行われてきた株主権の管理を、証券保管振替機構及び証券会社等の金融機関に開設された口座において電子的に行うこととするものです。

株券電子化の実施に際して、すでに証券保管振替機構に預託されている株券については、一斉に新たな株式振替制度に移行できるように措置されているため、株主が特段の手続きをとる必要はありません。しかし、自宅や貸金庫などご自身で管理されている株券、いわゆる「タンス株券」については、移行日における株主名簿上の株主の名義で、発行会社により設定される「特別口座」において管理されることになり、株券電子化の実施により株式の権利を表章するという株券の効力は無効となってしまいます。

**特別口座で管理される株式は売却する際に株主の手続きと時間が必要となります。このため、タンス株券を保有する方は、あらかじめ、証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託しておくことで、スムーズに売却できます。**

なお、証券会社等や証券保管振替機構における預託のための事務手続きに時間を要することも予測されますので、できるだけ早めに上記預託のための手続きを行うようにしてください(現在でも当該預託を行うことは可能です)。

詳しくは <http://www.fsa.go.jp/ordinary/kabuken/index.html>  
(金融庁ホームページ ~株券電子化について~) をご覧下さい。

